

平和が原点です

日本共産党



区議会議員2期

たかじょう 訓子

軍拡・大增税やめよ 物価高騰・コロナ対策

福祉・くらし第一の区政を
私の原点——平和でこそ暮らしが守れる
あなたの声を まっすぐ区政に

平和な社会に
憲法9条
まもる



たかじょう 訓子

●プロフィール

1965年栃木市生まれ。県立栃木女子高校卒。建築設計事務所に勤務。新日本婦人の会で子ども・女性の地位向上の活動に従事。2015年世田谷区議会議員に初当選、現在2期目。南烏山2丁目在住。

みなさんと
一緒に実現したいこと

- ☑ 北烏山2丁目、八幡山3丁目都営住宅建て替え時に福祉活用のできる複合施設の整備を
- ☑ 交通不便地域解消へ、コミュニティバスの運行を
- ☑ 岩崎学生寮周辺樹林地整備は住民参加で
- ☑ 北烏山地区会館の廃止にともなう30人規模の代替え施設を
- ☑ 障害者グループホームの増設を
- ☑ 千歳台交差点のバリアフリー化を
- ☑ 京王線の各駅にホームドアの設置を
- ☑ ひとり親家庭への継続的な経済的支援としての「育成手当」の増額を
- ☑ 補聴器購入費補助制度の実施と調整や訓練もセットで

大軍拡
大增税
やめよ



たかじょう 訓子事務所 
世田谷区南烏山 6-34-16
☎03-3308-9214
メール kunpeace55@icloud.com

ボランティア&サポーター募集中

たかじょう区議を
引き続き区政へ

都議会議員
里吉 ゆみ

たかじょう区議は弱い立場の方々の痛みがわかる人です。2期8年、困っている人にやさしい政治をと頑張る地域になくてはならない区民の代表です。みなさんのご支援をお願いします。



世田谷区民新聞

2023年号外 発行●世田谷区民新聞社 世田谷区太子堂4-5-2 ☎03-3419-7721
日本共産党世田谷地区委員会の見解をご紹介します。区政や日本共産党へのご意見・感想をお寄せください。

みなさんと共に区政を前に進める

日本共産党区議会議員
たかじょう訓子



質疑者 たかじょう訓子
区議会で質問するたかじょう訓子区議

ごあいさつ

シングルマザーになって18年、苦しい日々の中、今、成長した娘と息子に感謝しながら議員活動をしています。そして、苦しいのは私のようなひとり親だけではなく、経済的なことで学ぶことが困難な学生、爪に火を燈すように生活する高齢者など、この国の悪政に心を痛めている人たちがなんと多いことかと実感しています。

「子どもの貧困対策」は私のライフワークです。議員一期目から世田谷区議会でこの分野で要求してきたことが次々と成果になっています。

誰もがくらしに希望が持てる政治の実現のために力を尽くす決意です。引き続き区政で働かせてください。

（ 遠距離介護を通じて、
社会保障は
誰にも必要と痛感 ）

栃木に住む両親の介護が必要なため、私は栃木まで通って介護しています。支えてくださるヘルパーさんたちの専門的な仕事ぶりに心強く感謝しています。岸田政府が狙っている介護保険制度の改悪が進めば、利用者の負担がふえ、サービスのカットなどで、お年寄りの命を縮めることになってきます。

改悪は絶対に許せません。充実こそ政治の仕事だと強く求めるために頑張ります。防衛費の大増額をやめ、社会保障の拡充のためにご一緒に歩みだしましょう。

（ 小さな声も
議会に届けて ）

実現した子どもの貧困対策

私は子どもの貧困問題を議会で一貫して取り上げ、繰り返し求めた「子どもの生活実態調査」により、区内の子どもの10%が生活困窮世帯であることが明らかになりました。

シングルマザーが中学校の制服を買うために借金をするなどの現実をみてきました。

就学援助の新入学用品費支給を学校入学後から入学前に前倒し支給が決まった時、涙が出るほど嬉しかったです。さらに、「子ども貧困対策計画」がつけられ、教育分野、住宅分野など世田谷区政全体で取りくまれるようになりました。

- ひとり親世帯への住宅支援として世帯枠の拡充、住宅あっせんの家賃補助、区が独自にJKK住宅の確保と家賃補助
- 「無料塾」など学習支援の拡充、食事を一緒に作るサポーター派遣の「宅食」の実施

（ 地域の皆さんと
力をあわせて ）

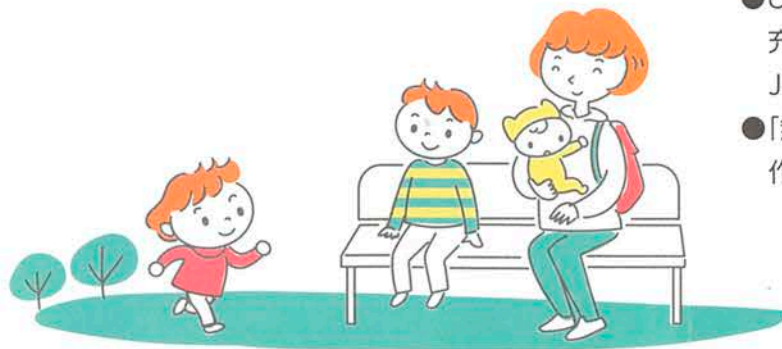
北烏山地区会館の代替施設の充実

利用者の会の方々から「廃止は反対」と、存続の署名470筆を区長に提出しました。一方、「30人規模の集会施設を確保せよ」と区に迫り、区は「区民の活の場の確保のため代替え施設を検討する」と答えました。日本共産党と住民が力をあわせた大きな成果です。今後、建替え施設の設置実現にがんばります。

ふじみ荘の代替施設の充実

ふじみ荘を利用していた方から繰り返し声を聞き、施設の現状も調査し、代替え施設の充実に力を尽くしました。

その結果、利用者の代替え施設になった千歳温水プールや大蔵運動場の浴場施設が利用できる「ふれんどバス」のルート変更や増便、浴場の安全を確保する手すりの設置、食材・メニューが充実しました。



新型コロナ感染
対応する「暮らしの
総合相談」窓口の
設置

学校給食の
無償化

経済的に困難な家
庭への就学援助支
給範囲の拡充

学校体育館屋上・
公共施設に太陽
光パネルの設置
を推進

18歳までの子ども
医療費無料化

学校での災害時
用生理用ナプキン
の配布

岩崎学生寮緑地
の保全スタート

特養ホーム待機者
解消のため1000
人分の整備計画が
策定され、23年度
までに759人の
整備が確定